

次期芸術監督からのメッセージ



photo: Kikuko Usuyama

岡田利規

東京芸術劇場
芸術監督参与、次期芸術監督（舞台芸術部門）

芸術の実践をアーティストはやりたくて勝手にやります。そこには社会への意識とかあるかもしれないけどそんなこと気にしてないかもしれない。気にしてないのにやることが社会に対する痛烈な批評になってたりしますよねいいアーティストのやってることって。芸術の実践が社会に対して批評性のあるインパクトを与えること、それを〈ゴール〉を決めることに準えるのだとすれば、シュートを決めるのはアーティストではなくて制作者であるとわたしはおもってます。アーティストは決定的なパスを出すだけです。ひとりでも多くのすぐれたストライカーが世の中には必要です。あなたにそれになってもらいたいです。

研修の様子



実務研修



実務研修



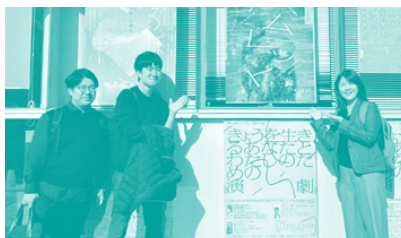
ゼミ



修了生との交流



他館視察



他館視察

修了生の声 研修を修了し、各現場で活躍する元研修生の声をお届けします。

（2025年12月現在）



半田 萌

2022年度研修生〈音楽制作分野〉長期コース
クリエイティブ・リンク・ナゴヤ
事業・広報グループ コーディネーター

私はこの研修以前もとある劇場に勤めていたのですが、アカデミーではアートマネージャーとして必要なスキルを改めて学び直すことができました。芸劇での実務経験はもちろんのこと、毎月のレポートや報告書執筆を通して文章力も鍛えられます。全国のホールや施設を訪ねた経験も、私の大きな財産になりました。芸術が地域社会で果たす役割に対する興味関心が深まり、それが今の仕事につながっています。



井上正行

2023年度研修生〈教育普及分野〉長期コース
合同会社ARTの地産地消 代表

私は大学で培った美術の知見だけでなく、舞台芸術という未知のアートを学んでみたいと思い研修に参加しました。とりわけ「劇場法」に関する学びや、劇場の魅力を発信する劇場ツアー、大道芸などの企画・運営に関われたことは得難い体験でした。これらの経験をもとに、現在は地域にアートをベースを立ち上げ、様々なジャンルのアーティストの活動支援などを行っています。専門性を深めたい方、新たな知見を得たい方におすすめです。

第1期から第12期修了生の主な就職先

（2025年10月現在）

- ・（公財）岡山文化芸術創造 岡山芸術創造劇場
- ・（公財）神奈川芸術文化財団 神奈川県民ホール
- ・（公財）川崎市文化財団 ミューザ川崎シンフォニーホール
- ・（一財）北上市文化創造 北上市文化交流センター さくらホール
- ・（公財）京都市音楽芸術文化振興財団 ロームシアター京都
- ・（公財）キラリ財団 富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ
- ・クリエイティブ・リンク・ナゴヤ
- ・（独）国際交流基金
- ・（独）国立美術館
- ・座・高円寺／NPO法人劇場創造ネットワーク

- ・（公財）静岡県舞台芸術センター SPAC
- ・（公財）新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・（公財）世田谷パブリックシアター
- ・（一社）瀬戸内サーカスファクトリー
- ・東京都生活文化局
- ・（公財）東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
- ・（公財）東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
- ・（公財）東京都歴史文化財団 東京文化会館
- ・（公財）としま未来文化財団
- ・（公財）としま未来文化財団 あうるすぽっと【豊島区立舞台芸術交

- 流センター】
- ・豊岡演劇祭実行委員会事務局
- ・（一財）長野市文化芸術振興財団 長野市芸術館
- ・（公財）新潟市芸術文化振興財団 リゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館
- ・（公財）練馬区文化振興協会 練馬文化センター
- ・（公財）兵庫県芸術文化協会 兵庫県立芸術文化センター
- ・（公財）福武財団
- ・（公財）丸亀市福祉事業団 丸亀市民会館開館準備室
- ・（公財）横浜市芸術文化振興財団
- ・（公財）読売日本交響楽団

主催 | 東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

東京芸術劇場について | 東京芸術劇場は、東京の音楽・舞台芸術を代表する「顔」として、長期的な視点に立った芸術文化の「創造発信」「人材育成・教育普及」「賑わいの創出」「国際文化交流」に取り組んでいます。本格的なクラシック音楽、演劇・舞踊等の専用ホールと専門スタッフを有し、積極的な創造活動を行う東京芸術劇場の特性を活かし、高い専門性を持つ人材を育成していきます。

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

※2024年度に「アーツアカデミー」から「芸劇舞台芸術アカデミー」に名称を変更し、リニューアルしました。

劇場を創る、という仕事。

TMT
PERFORMING ARTS
ACADEMY

舞台芸術分野での
キャリア形成を目指し、
劇場の制作現場で学ぶ
研修プログラム

TOKYO
METROPOLITAN
THEATRE

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre



TMT
PERFORMING
ARTS ACADEMY

2026

令和8年度 芸劇舞台芸術アカデミー 実務研修員募集

研修員募集

令和8年度 実務研修員募集概要

01 研修目的

公立文化施設や芸術団体等で活躍することを目指す若手人材に対し、舞台芸術分野へのキャリアチェンジや、制作者としての資質の向上に資することを目的としています。現場での実務研修のほか、レクチャーやゼミを通して必要な知識や技能を習得するとともに、他の舞台芸術関係者とのネットワークを形成し、将来的に劇場運営の中核を担う人材の育成を目指します。

02 研修内容

本研修は、舞台芸術業界におけるキャリア形成の上で、それぞれの目標を掲げ、課題意識を持ちながら、主体的に行動する意志のある方をサポートします。

- 実務研修** | 制作現場で経験を積み、即戦力となることを目指します。体験的に現場へ入るだけでなく、自身のキャリアや強みを活かすすべを実践の中で模索します。
- ゼミ・レポート** | ゼミを通してキャリアの基盤となる知識を身につけ、実務研修に関するレポートを作成することで、実践での学びを言語化する力を養うとともに、客観的な視点と分析力を身につけます。
- ネットワーク形成** | 実務研修や他館視察等を通して、さまざまな舞台芸術分野の関係者と出会うことで、将来のキャリアにつながるネットワークを形成します。

03 募集コース、研修プログラム

研修期間	研修分野	研修プログラム（例）		募集人数
		実務	座学等	
長期 （11か月）	制作コース （音楽または演劇）	●公演制作 ●ホール運営 ●フェスティバル制作 ●広報業務 等	●レクチャー、ゼミ （企画、講読、リサーチ等） ●レポート作成 （週報、月報および報告書）	各コース 若干名
短期 （4～6か月程度）	教育普及・ 社会共生コース	●ワークショップ制作 ●劇場ツアー制作 ●地域連携企画 ●障害者アーツ運営 ●鑑賞サポート 等	●進路相談、面談 ●他館見学、出張研修	

実務研修は本人の経験や適性と劇場のプログラム開催時期を考慮しながら、研修開始後に詳細を決定します。研修期間を通じて複数の実務研修に従事していただきます。
※研修への取り組みに問題が見られる場合は、研修期間中であっても研修資格を取り消すことがあります。※報告書の発表会等、研修期間外に作業や出席を依頼する場合があります。

04 勤務条件

① 契約期間

長期コース

2026年4月1日（水）～2027年2月28日（日）

短期コース

2026年4月1日（水）～2027年2月28日（日）

のあいだの4～6か月程度

② 勤務時間

8時45分から17時30分までの休憩時間を除く
1日7時間45分

※業務状況により、8時45分から22時00分の間で始業・終業時間が
変更になる場合があります。
（1日あたりの就業時間は原則7時間45分を基本とします。）

③ 勤務形態

月135時間 週1日以上の日を含む

ローテーション勤務です。

※1 土曜・日曜・祝日に勤務する場合があります。

※2 業務状況により、超勤が発生する場合があります。

④ 給料月額

190,000円 ※固定残業代（月15時間分）を含みます。

⑤ 諸手当等

通勤手当の規程に基づき支給。賞与なし。

⑥ 休日・休暇

週1日以上、年次有給休暇等

⑦ その他

社会保険、健康保険完備

05 研修場所

東京芸術劇場（東京都豊島区西池袋一丁目8番1号）ほか

06 応募資格

- ① 高等専門学校あるいは大学卒業以上の概ね22歳から35歳程度の者で、かつ舞台芸術業界あるいは文化施設での就職を希望する者。
- ② 舞台芸術への興味関心、および職務を遂行する熱意を有すること。
- ③ 希望する研修分野で必要となる基礎的な知識やスキルを有すること。高等専門学校あるいは大学等での専攻は問わない。
- ④ 文化施設や芸術団体、公的機関、民間企業、NPO法人等での公演等制作、ホールの貸館運営等の実務経験を概ね1年以上有すること。あるいは一般企業等での社会人経験を概ね3年以上有すること。
- ⑤ 一般的なビジネスマナーを理解し、日常業務に必要なパソコン操作（Microsoft Office等）や事務・接客対応ができること。
- ⑥ 多様な専門性を持つ関係者と円滑なコミュニケーションがとれ、主体的かつ自発的に業務に取り組めること。

07 選考方法

① 第一次選考 書類審査

履歴書、職務経歴書および小論文による書類選考

② 第二次選考 面接

第一次選考合格者に対して、主として人物および識見についての面接を行います。

選考予定日 | 2026年2月7日（土） ※予備日 | 2026年2月8日（日）

選考会場 | 東京芸術劇場（東京都豊島区西池袋一丁目8番1号）

08 募集期間

2025年12月20日（土）～2026年1月15日（木）まで（17時必着）

09 応募方法および応募書類

① 応募方法 メールにて応募書類をお送りください。

〈メール送信先〉academy@geigeki.jp

件名 | 「芸劇舞台芸術アカデミー実務研修員申込（氏名）」

添付ファイル形式 | PDF推奨 ※郵送、FAXおよび持参による受付は行っておりません。

② 応募書類

① 所定の「採用選考申込書」

② 所定の「履歴書」

③ 職務経歴書（様式任意）

④ 小論文（様式任意。800字以上1,200字以内でA4判・片面1ページに収まるように作成してください。）

テーマ | 劇場法に見る、東京芸術劇場の「世界の窓」としての機能について

※①②の各様式は、東京芸術劇場ホームページ（<https://www.geigeki.jp/info/paa2026entry>）からダウンロードできます。
応募の際にお預かりした個人情報については、個人情報保護法に基づき本選考に必要な範囲内で利用させていただきます。

問合せ先

〒171-0021 東京都豊島区

西池袋一丁目8番1号

東京芸術劇場

事業企画課 芸劇舞台芸術アカデミー担当

<https://www.geigeki.jp/>

TEL | 03（5391）2111（代表）

※休館日を除く9:00～22:00



ダウンロードは
こちら

10 合否の発表

① 第一次選考の結果は、合否にかかわらず2026年1月28日（水）頃までに、本人宛て通知します。

② 第二次選考の結果は、合否にかかわらず2026年2月20日（金）頃までに、本人宛て通知します。

なお、選考結果についての問合せは、第一次・第二次とも応じられません。